

2 パソコン用ガイド



別紙「①設置ガイド」で設置した後、本紙をお読みください。

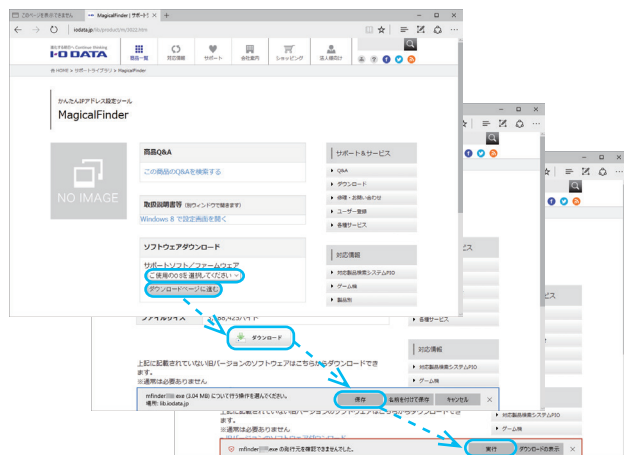
ネットワークカメラ
TS-WPTCAM2

M-MANU201642-02

準備1 Magical Finderをダウンロード

設定アプリ「Magical Finder」をダウンロードして利用します。
※ 本製品と同じネットワーク上にあるパソコンで操作してください。

- ① Webブラウザを起動し、
http://www.iodata.jp/r/3022 にアクセス
- ② ご利用のOSを選択し、[ダウンロードページに進む]をクリック
- ③ [ダウンロード]をクリック
- ④ [保存]をクリック
- ⑤ [実行]をクリック
⇒画面の指示にしたがって実行してください。

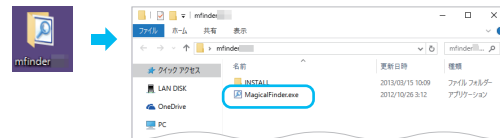


以上でダウンロードは完了です。右記「準備2」へお進みください。

準備2

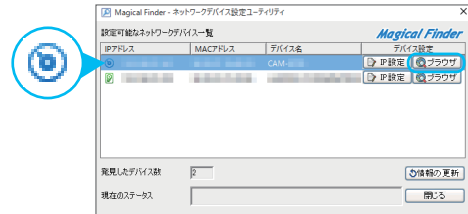
本製品と同じネットワーク上からアクセスする

- ① デスクトップ上にできた
[mfinderXXX]フォルダーを開く（“XXX”は数字）
- ② [MagicalFinder(.exe)]をダブルクリック



※ Windowsのファイアウォールの画面が表示された場合は、[アクセスを許可する]をクリックしてください。

- 2 カメラの[ブラウザ]ボタンをクリック

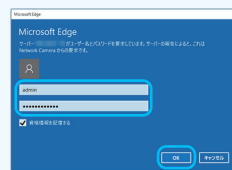


※ 本製品名は「CAM- (MACアドレス下4桁)」で表示されます。
※ MACアドレスは、本製品背面のシールに記載しています。
※ 本製品名が表示されない場合は、セキュリティ関連のソフトウェア(ファイアウォールソフト)の動作を一時的に停止していただき、本製品が見つかるかどうかをお試ください。

Windows 10の場合のみ、
手順3～4の操作をおこなってください。
Windows 10以外の場合は、手順5へお進みください。

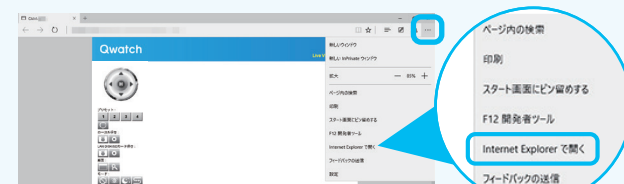
Windows 10の標準ブラウザ「Microsoft Edge」では、カメラ映像を表示することはできません。
以下の手順でInternet Explorerを開き、カメラ映像を表示してください。

- ① 1行目に“admin”を入力
- ② 2行目にパスワードを入力
- ③ [OK]をクリック



※ 初期パスワードは、本製品に記載のMACアドレス(大文字、英数字12桁)です。変更している場合は、変更後のパスワードを入力してください。
※ ログインできない場合は、Internet Explorerを開いて、「http://カメラのIPアドレス」を入力し、アクセスしてみてください。IPアドレスは上記手順2の画面でご確認ください。(例：IPアドレスが192.168.0.10の場合、「http://192.168.0.10」)

- ① ... をクリック
- ② [Internet Explorerで開く]をクリック



下記、手順5へお進みください。

- ① 1行目に“admin”を入力
- ② 2行目にパスワードを入力
- ③ [OK]をクリック



※ 初期パスワードは、本製品に記載のMACアドレス(大文字、英数字12桁)です。変更している場合は、変更後のパスワードを入力してください。

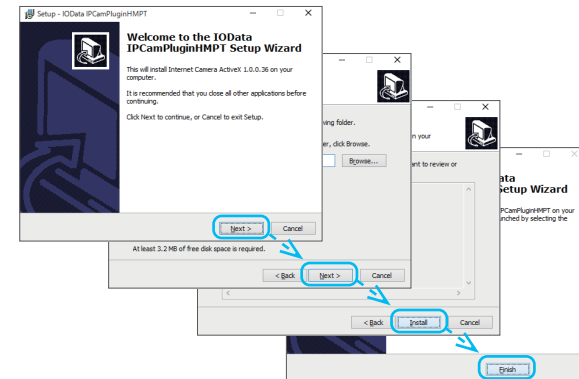
- ① 以下の画面が表示された場合は、[ActiveXのダウンロード]をクリック
- ② 画面の指示にしたがって、[実行]→[はい]または[許可]の順にクリック



- ③ 以下のメッセージが表示されますが、先にInternet Explorerを閉じてから、[はい]をクリック



- ④ 画面の指示にしたがって、[Next]→[Next]→[Install]→[Finish]の順にクリック



※ ご利用の環境により「...」はダウンロードしたユーザーの人数が少ないため、コンピューターに問題を起こす可能性があります」のメッセージが表示される場合がありますが問題ありません。[操作]→[実行]の順にクリックしてください。

- 7 手順1～5の操作を再度おこなう

※ Internet Explorerで「このページは表示できません」と表示された場合は、(更新)アイコンをクリックしてください。

※ 「このWebページは、'I-O DATA DEVICE,INC.'の'IPCamPluginHMPT.ocx' アドオンを実行しようとしています。」のメッセージが表示された場合、[許可]をクリックしてください。

- 8 カメラの映像が表示されたら設定は完了です。
必要に応じて、本製品をコンセントから抜き、使う場所に移動し、挿し直してください。

※ ピントは、映像を見ながら本製品のピントリングを回して合わせてください。

※ 映像が表示されない場合は、別紙「必ずお読みください」のQ&Aをご覧ください。

※ 本製品と接続設定したルーターが通信できる範囲(屋内)に設置してください。

※ 本製品を壁に取り付ける場合やスタンドの取り付け方法については、別紙「①設置ガイド」裏面をご覧ください。

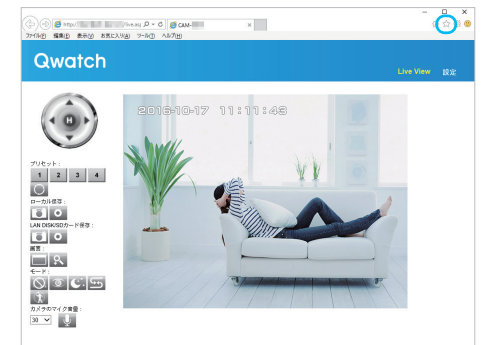
※ 別紙「①設置ガイド」で無線接続設定が完了していない場合は、本紙裏面「手動で無線接続の設定をする方法」をご覧ください。

外出先のPCから映像を見る場合は、裏面へお進みください。

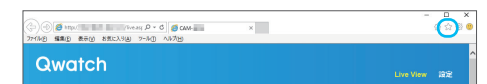
次回、簡単に映像を表示する方法

カメラ映像が表示された状態でお気に入り登録をしておくと、次回、簡単にカメラ映像を表示できます。

- ① カメラの映像を表示する
- ② ☆(お気に入り)を開き、
[お気に入りを追加]クリックして、お好きな名前で追加



- 2 次回、カメラご利用時、
- ① Internet Explorerを起動する
- ② ☆(お気に入り)を開き、手順1で追加したお気に入りをクリック



- 3 ① 1行目に“admin”を入力
- ② 2行目にパスワードを入力
- ③ [OK]をクリック



※ パスワードの初期値は本製品に記載のMACアドレス(英数字12桁)です。変更している場合は、変更後のパスワードを入力してください。

※ 「このページは表示できません」と表示された場合は、左記、「準備2 本製品と同じネットワーク上からアクセスする」の手順でご利用ください。その後、本手順でお気に入りの再登録をおこなってください。

カメラの映像が表示されたら、完了です。

「画面で見るマニュアル」の開き方

「画面で見るマニュアル」では以下のような内容など、本製品の詳しい使い方を説明しています。弊社Webページよりご覧ください。

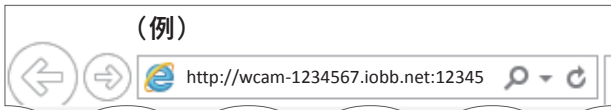
- ・ QwatchViewの使い方
- ・ 動作検知の設定方法
- ・ 設定画面のリファレンス
- ・ FAQ など

<http://www.iodata.jp/p/157949>



外出先からアクセスする方法

- ① 外出先のパソコンでWebブラウザを起動
- ② 添付の「かんたん接続シート」に記載の
[外出先からのアクセス(PC)用URL]を入力し、
アクセス



Windows 10の場合は、
本紙表面「準備2 本製品と同じネットワーク上からアクセスする」の手順3～4の操作をおこなってください。
Windows 10以外の場合は、手順5へお進みください。

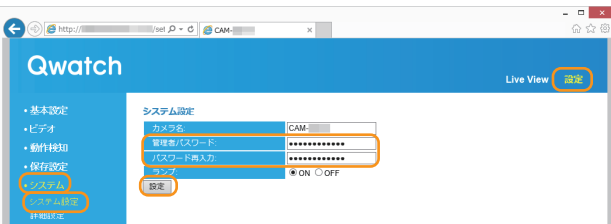
管理者パスワードの変更方法

管理者パスワード変更のお願いと、 「かんたん接続シート」の取り扱いについて

「かんたん接続シート」があると簡単にカメラ映像が見られるようになります。
不用意に他の方の手に渡ることはないよう、お取り扱いには十分にご注意ください。
なお、管理者にあらかじめ設定されているパスワードは、セキュリティ強化のために変更の上でご利用ください。

- 1 本製品と同じネットワーク上にあるパソコンでWeb
ブラウザを起動し、カメラの映像を表示する
※ 管理者権限(ユーザー名:admin)でログインしてください。

- 2 ① [設定]をクリック
② [システム]→[システム設定]の順にクリック
③ [管理者パスワード]と[パスワード再入力]に
同じパスワードを入力
※ a～z、A～Z、0～9の文字を使用(半角入力)
④ [設定]をクリック



以上で管理者パスワードの変更は完了です。

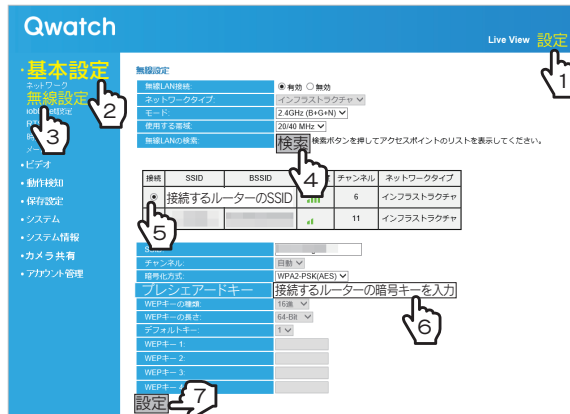
手動で無線接続の設定をする方法

WPSボタンを使わずに、本製品を無線LANルーターへ接続する場合は、
以下の手順で接続してください。

- ※ 事前に無線LANルーターのSSIDと暗号キーを控えておいてください。
- ※ 本製品と同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。

- 1 本製品と同じネットワーク上にあるパソコンでWeb
ブラウザを起動し、カメラの映像を表示する
※ 管理者権限(ユーザー名:admin)でログインしてください。

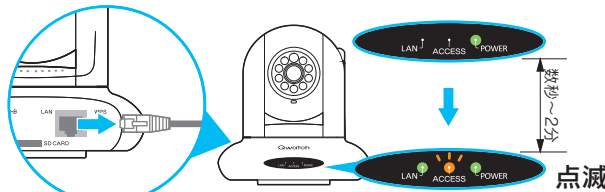
- 2 ① [設定]をクリック
② [基本設定]をクリック
③ [無線設定]をクリック
④ [検索]をクリック
⑤ 接続するルーターのSSIDを選択
⑥ 接続するルーターの暗号キーを[プレシェードキー]
に入力
⑦ [設定]をクリック



無線LANルーターのSSID、暗号キーの確認方法

初期値は無線LANルーター本体に記載されています。ご不明な
場合は、無線LANルーターの取扱説明書またはメーカーにお問
い合わせください。

- 3 ① 本製品からLANケーブルを外す
② ACCESSランプの点滅を確認



ACCESSランプが点滅にならない場合

ご利用の無線LANルーターの暗号化方式をご確認ください。
無線LANルーターの暗号化方式が「WPA2-PSK(TKIP)」や
「WPA-PSK(AES)」の場合は、無線LANルーター側の設定で
「WPA2-PSK(AES)」 「WPA-PSK(TKIP)」 「WEP(64bit/128bit)」
のいずれかに変更してから本手順をお試しください。

以上で設定は完了です。Live Viewの画面に戻り、カメラの
映像が見えることをご確認ください。

操作パネルについて

各アイコンの操作や設定については、弊社Webページより「画面で見る
マニュアル」をご覧ください。

<http://www.iodata.jp/p/157949>

パン・チルト操作ボタン

カメラを上下左右に動かします。Hをクリックすると設定した位置
(ホームポジション)に戻ります。

プリセット

カメラの向きを登録しておく、プリセットボ
タンの番号を押すだけでカメラの向きを変更
することができます。

一巡

設定した範囲を一巡します。

写真を保存 (Internet Explorer でのみ表示)

画像(静止画)を撮影し、ローカルのドライブに
保存します。

録画 (Internet Explorer でのみ表示)

表示されている映像(動画)をローカルのドラ
イブに保存します。クリックすると、録画を開
始/停止し、保存します。

LAN DISK/SDカードへ録画

表示されている映像(動画)をLAN DISKまたはSDカードに保存
します。クリックすると、録画を開始/停止し、保存します。

LAN DISK/SDカードへ写真を保存

画像(静止画)を撮影し、LAN DISKまたはSDカードに保存します。

全画面表示 (Internet Explorer でのみ表示)

映像を全画面表示します。

デジタルズーム (Internet Explorer でのみ表示)

拡大の有効/無効および拡大率を設定します。

パトロール

パトロール機能をオン/オフします。

プライバシー

プライバシー機能をオン/オフします。

パン・チルト

パン・チルトの動作方向を反転します。

暗視

暗視機能への自動切り替え機能をオン/オフ
します。

動作検知

動作検知機能をオン/オフします。

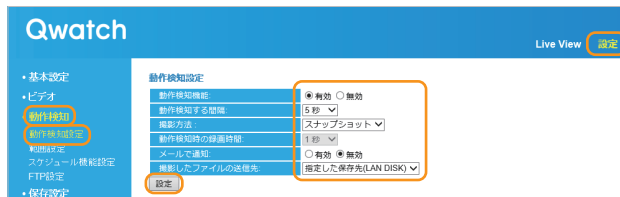
カメラのマイク音量

本製品のマイク音量を選択します。アイコンを
クリックするとミュート(消音)します。

動作検知モードを利用する方法

画像の変化を検知し、画像をFTPサーバーに記録したり、メールでお知ら
せすることができます。必要に応じてご利用ください。

- 1 本製品と同じネットワーク上にあるパソコンでWeb
ブラウザを起動し、カメラの映像を表示する
※ 管理者権限(ユーザー名:admin)でログインしてください。
- 2 ① [設定]をクリック
② [動作検知]→[動作検知設定]の順にクリック
③ [動作検知設定]の各項目を設定
④ [設定]をクリック



項目	設定内容
動作検知機能	[有効]を選択します。
動作検知 する間隔	動作検知する間隔を選択します。 (1/3/5/10/15/20/30/45/60秒から選択) ※ 例えば5秒を選択した場合、設定した範囲内 に動きがあるかを、5秒ごとに確認します。 ※ 撮影枚数が多すぎる場合は、「動作検知する間 隔」を長めに設定すると撮影枚数が減ります。
撮影方法	動作検知した際の撮影方法を、撮影しない、スナッ プショット(静止画)または動画から選択します。
動作検知時の 録画時間	動作検知してから何秒間録画するかを選択します。 (1/2/3/4/5/10秒から選択) ※ 録画できるファイル容量は最大2MBです。設 定した秒数になる前でも2MBになると自動 で録画を停止します。設定した秒数分、録画 できない場合は画質を落としてください。
メールで通知	動作検知した際の画像をメールに送信する場合 は、[有効]を選択します。 ※ メール設定は本製品の設定画面の[基本設定] →[メール設定]でおこないます。
撮影したファイル の送信先	動作検知した際のファイルの送信先を選択します。

- 3 手順2の「撮影したファイルの送信先」で選択した
送信先の設定をする

撮影したファイルの送信先	設定項目※1
指定した保存先 (LAN DISK)	[保存設定]→[LAN DISK保存設定]メニュ ーをクリックし、設定します。
FTPサーバー	[動作検知]→[FTP設定]メニューをクリッ クし、設定します。
メールに添付	[基本設定]→[メール設定]メニューをク リックし、設定します。※2

※1 各設定項目の詳細については、弊社Webページより「画面で見
るマニュアル」をご覧ください。

※2 送信元メールにはYahoo!/Gmailを選択することができます。
手動設定を選択した場合は、ご契約のプロバイダーの資料に
したがって設定してください。

- 4 本製品で動くものを撮影し、動作検知を試してみる

- 5 手順2の「撮影したファイルの送信先」で選択した
送信先を確認する

以上で動作検知設定は完了です。

※ 動作検知範囲やスケジュール設定をおこなう場合は、弊社Webページより「画面
で見るマニュアル」をご覧ください。

<http://www.iodata.jp/r/4457>